

▶ インド
姿を消す娘たちを探して

10・31刊 四六判264頁 本体2200円
つげ書房新社

女性たちが虐げられて生きる 経済大国の社会悪を赤裸々に描き出す

男女を問わず初等教育を充実させ、働く場所を提供することが必要

島田卓

本書の前書きを書いているアブドゥル・カラム、インド第11代大統領が著した「インド2020——世界大国へのビジョン」の冒頭には以下のような記述がある。

カラム博士の講演が終わると、10歳の少女がそばに来てサインを求めた。

「あなたの望みは何？」カラム博士が尋ねると、

「先進国になったインドに住むこと」と少女はためらわずに答えた。この少女と、同じ望みを持つ何百万というインドの人々に、本書を捧げる。

この書で語られている「先進国」の英語表記が「developed India」である。「発展する」ということ、「先進国になる」ということ、「先進国に持つ深い意味を考えさせられたのが本書だ」と同時に、なんと憂鬱な気分させられたことか。先進国とは単に物質的に豊かなことだけではない、一人一人の人が性や肉体的ハンディや思想等に関係なく平等に扱われ、その能力を遺憾無く発揮できる社会をさすのではないか。インドは

1991年に経済自由化を断行、一時は9%を超える経済発展を成し遂げ、今やアジアでは中国、日本に次ぐ第3位の経済大国だ。もう少しすると少子高齢化の国に仲間入りする中国と違い、釣鐘型のインドの人口構成はシブシブ的には大きな未来を約束しているようにも見受けられる。

その一方で、あまたの女性が信じられないような状況で強いられ、虐げられて生きていく。少女が必要とされるのは家やランパに火をつけるためだけであり、一人以上の娘は望まれていない。そして望まれていない女の新生児が生まれると「遠くへ送る(命を奪う)」ことになる。それが進むと、出生前診断により「子宮にいたる女の子までが殺され

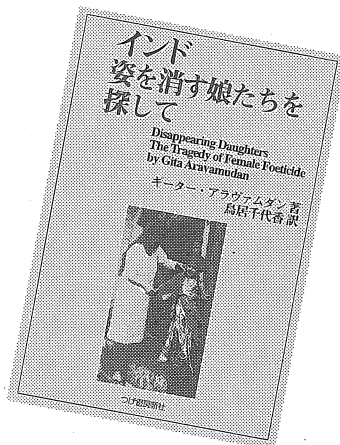
る」。そうやって、嫁いだ女性(山根案)は出版権を電子出版にまで拡大を基本としたB案を支持した。

「先進国」の英語表記が「developed India」である。「発展する」ということ、「先進国になる」ということ、「先進国に持つ深い意味を考えさせられたのが本書だ」と同時に、なんと憂鬱な気分させられたことか。先進国とは単に物質的に豊かなことだけではない、一人一人の人が性や肉体的ハンディや思想等に関係なく平等に扱われ、その能力を遺憾無く発揮できる社会をさすのではないか。インドは

1991年に経済自由化を断行、一時は9%を超える経済発展を成し遂げ、今やアジアでは中国、日本に次ぐ第3位の経済大国だ。もう少しすると少子高齢化の国に仲間入りする中国と違い、釣鐘型のインドの人口構成はシブシブ的には大きな未来を約束しているようにも見受けられる。

その一方で、あまたの女性が信じられないような状況で強いられ、虐げられて生きていく。少女が必要とされるのは家やランパに火をつけるためだけであり、一人以上の娘は望まれていない。そして望まれていない女の新生児が生まれると「遠くへ送る(命を奪う)」ことになる。それが進むと、出生前診断により「子宮にいたる女の子までが殺され

る」。そうやって、嫁いだ女性(山根案)は出版権を電子出版にまで拡大を基本としたB案を支持した。



ノンフィクション

図書新聞
直接定期購読を

一年(48週)	11,520円
半年(24週)	6,240円

※送料・税込

毎週ご自宅までお届けいたします。
はがき、TEL、ファックス、メールにて下記までお申し込み下さい。
※海外での定期購読をご希望される方はご相談下さい。

◆お申し込み・お問い合わせ
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-34
(株)図書新聞 定期購読係
TEL03(3234)3471 FAX03(3261)4837
E-mail info@toshoshimbun.com
http://toshoshimbun.jp

ing women (失われた女性)

代表取締役社長)